

(令和4年4月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	4月の総入荷量は、期間の後半を中心に東日本太平洋側や西日本ではまとまった降水となった所があり、前年同月比で10%下回った。 総取扱金額は、たまねぎを中心とした品薄や、業務筋中心の引き合いの増加により単価が堅調に推移したため、前年同月並みであった。 今後は気温上昇により生育は回復傾向に向かい、安定した入荷が見込まれる。 5月は、野菜では、実山椒や実えんどうが最盛期を迎え、中旬から青梅の入荷が始まる。果実では、マンゴーや桜桃の入荷が増え、メロン類が最盛期を迎える。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は22%上回った。 根菜類の入荷量は前年同月比で14%下回り、単価は5%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は23%上回った。 果菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は前年同月比で6%上回った。 土物類の入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は53%上回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で17%下回り、単価は16%上回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で27%下回り、単価は13%上回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で20%下回り、単価は42%上回った。 いちご類の入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は5%上回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で32%下回り、単価は33%上回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん 西洋にんじん たけのこ	長崎，鹿児島，千葉，滋賀，京都などから入荷した。入荷量は作付面積の減少等により前年同月比で１５％下回り，単価は３２％上回った。 徳島を中心に長崎，京都，熊本，福岡などからも入荷した。入荷量は天候不順により不安定な入荷となったため前年同月比で２０％下回ったが，単価は需要が低かったため２０％下回った。 京都を中心に福岡，徳島，鹿児島，熊本などからも入荷した。入荷量は前年同月比で４％上回ったが，前年同様入荷量は少なく単価は７％上回った。
【葉菜類】 はくさい キャベツ ほうれんそう レタス	茨城，福岡を中心に，鹿児島，大分，兵庫などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は需要が高かったため７１％上回った。 愛知を中心に静岡，神奈川，滋賀，鹿児島などからも入荷した。入荷量は前年同月比で８％下回り，単価は５０％上回った。 福岡，京都を中心に岐阜，茨城，滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回り，単価は３％上回った。 兵庫を中心に鹿児島，徳島，岡山，長崎などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１６％下回り，単価は３９％上回った。
【果菜類】 きゅうり	宮崎を中心に滋賀，高知，福岡，佐賀などからも入荷した。入荷

	量は前年同月比で９％上回ったが、月の上中旬において入荷量が不安定であったことから単価は６％上回った。
なす	高知を中心に岡山、大阪、徳島、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１１％上回り、単価は１７％下回った。
とまと	熊本を中心に福岡、京都、三重、佐賀などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は需要が高かったため７％上回った。
ピーマン	宮崎、高知、茨城、京都、大阪などから入荷した。入荷量は前年同月比で４％下回ったが、単価は前年同月並みであった。
【土物類】 ばれいしょ (メイクイン含む)	長崎、北海道、鹿児島、滋賀、京都などから入荷した。入荷量は前年同月比で８％下回ったが、単価は高値で推移した前年同月と比較して１７％下回った。
たまねぎ	長崎、兵庫、北海道、佐賀、京都などから入荷した。入荷量は前年同月比で１４％下回り、単価は品薄感が強く２７９％上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏かん	愛媛，熊本，佐賀，福岡，和歌山などから入荷した。入荷量は前年同月比で７％下回ったが，単価は前年同月並みであった。
清見オレンジ	和歌山，佐賀，京都，福岡から入荷した。入荷量は前年同月比で５０％下回り，単価は６％上回った。
富士 （サン富士含む）	青森を中心に大阪，奈良，兵庫，滋賀からも入荷した。入荷量は前年同月比で１２％下回り，単価は４１％上回った。
いちご	福岡，大分，熊本，長崎，佐賀などから入荷した。入荷量は前年同月比で７％下回り，単価は５％上回った。
アールスメロン	京都を中心に静岡，高知，兵庫，奈良からも入荷した。入荷量は前年同月比で１２％下回り，単価は６０％上回った。
大玉すいか	熊本を中心に京都，大阪，高知から入荷した。入荷量は前年同月比で２７％下回り，単価は１４％上回った。